



# 各国が水サミットに賛意

## 国土交通省が公表

### 国連「アジアの対話」結果

国土交通省は5日、5月31日に上海で開催された国連水と衛生に関する諮問委員会

員会「アジアの対話」の結果を公表した。

それによると、アジア主要国の水担当大臣を含むハイレベルが出席した同会合では、「2008国際衛生年」「水事業体パートナーシップ」「水災害と統合水資源管理」について活発な意見交換が行われるとともに、今年12月に大分県別府市で開催される第1回アジア太平洋水サミットについて各国代表らから賛意が表明された。

アジア地域における、水と衛生に関するシレニアム開発目標達成を加速させることを目的とし、アジア主要国の水担当大臣を含むハ

イレベルが意見交換を行い、今後必要となる取組みを明らかにする目的で開催された。

議長ウィレム・アレクサンダーオランダ王国皇太子はじめ水と衛生に関する諮問委員会のメンバー18名と、バンケララシユ、中国、インド、日本、韓国、パキスタン、フィリピン、シンガポール、タジキスタン、ヴェトナムのアジア主要10カ国の代表が出席。日本からは、棚橋通雄国土交通省水資源部長が代表として出席した。

会合では冒頭、水と衛生に関する国連シレニアム開発目標（2015年まで

に安全な飲料水および衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する）について、安全な飲料水やトイレなどの基本的な衛生施設を利用できない人々の

大半がアジアにいたることなど、の深刻な状況を確認。水事業体パートナーシップに関する意見交換では、いかにして水道料金は持続的な水供給を確保する手段

となりうるのかについて対話が行われ、利水者団体等の調整を通じて、利害関係者の参加を拡大することの重要性について意見交換が行われた。

### 水と衛生への 貢献盛り込む

#### 21世紀環境立国戦略

21世紀環境立国戦略が1日、閣議決定された。

- ①地球環境の現状と課題
- ②「環境立国・日本」の創造・発信
- ③今後1、2年で重点的に着手すべき八つの戦略で構成。

このうち戦略4「公害克服の経験と智慧を活かした国際協力」で、①中国等との水環境パートナーシップの展開の国際衛生年を契機とした水と衛生問題への国際協力、②本を柱に「世界の水問題の解決に向けた国際的取組み」の展開が打ち出されている。

具体的展開として、今年12月のアジア・太平洋水サミットの開催などを通じて、日本の経験や技術・ノウハウを発信し、各国におけるモニタリング体制の強化や水環境管理能力の向上に向けた協力を展開すること。日本が共同提案し国連総会で採択された「国際衛生年（2008年）」を契機とした水と衛生問題への

貢献を目指すこと。

さらに、高度な処理水を得られ、水不足の解消や公衆衛生の向上にも貢献する日本の膜処理技術、漏水率が低く効率的といった特徴を持つ日本の水道の技術、技能、ノウハウ等を、各国の事情を踏まえたが国際的に展開することなどが盛り込まれた。